

DRに対応可能な

家庭用蓄電システムの 導入を支援します

補助額

最大

60万円

1申請あたり

補助率

1/3以内

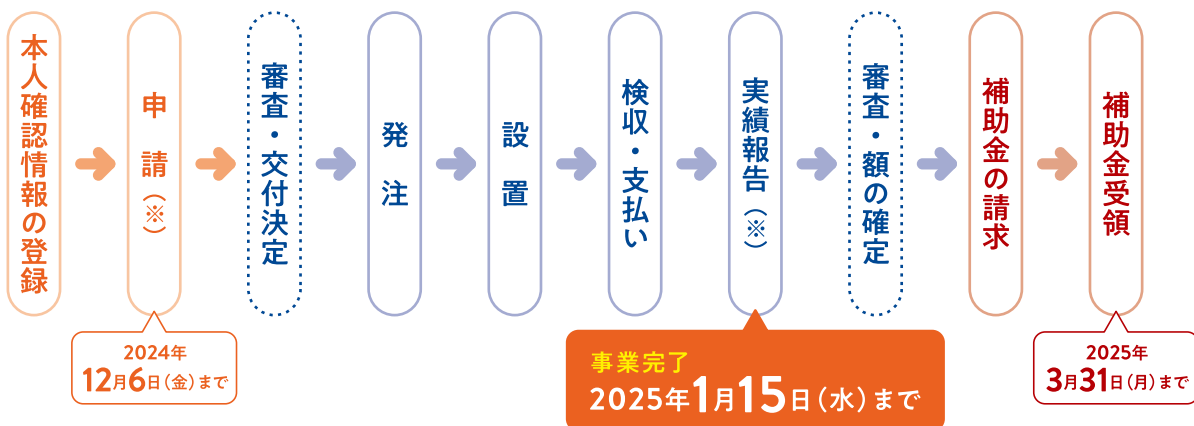
補助対象

- 蓄電システム機器代
- 工事費・据付費

申請期間

2024年4月10日(水) → 12月6日(金)

申請から補助金受領までの流れ



- 契約、発注などは必ず交付決定後に行ってください。交付決定前に契約、発注等を行った場合は補助対象外となります。
- 交付決定後は、申請を取り下げた再申請はできませんのでご注意ください。

※申請や実績報告は販売事業者による代行手続きが必要となります。

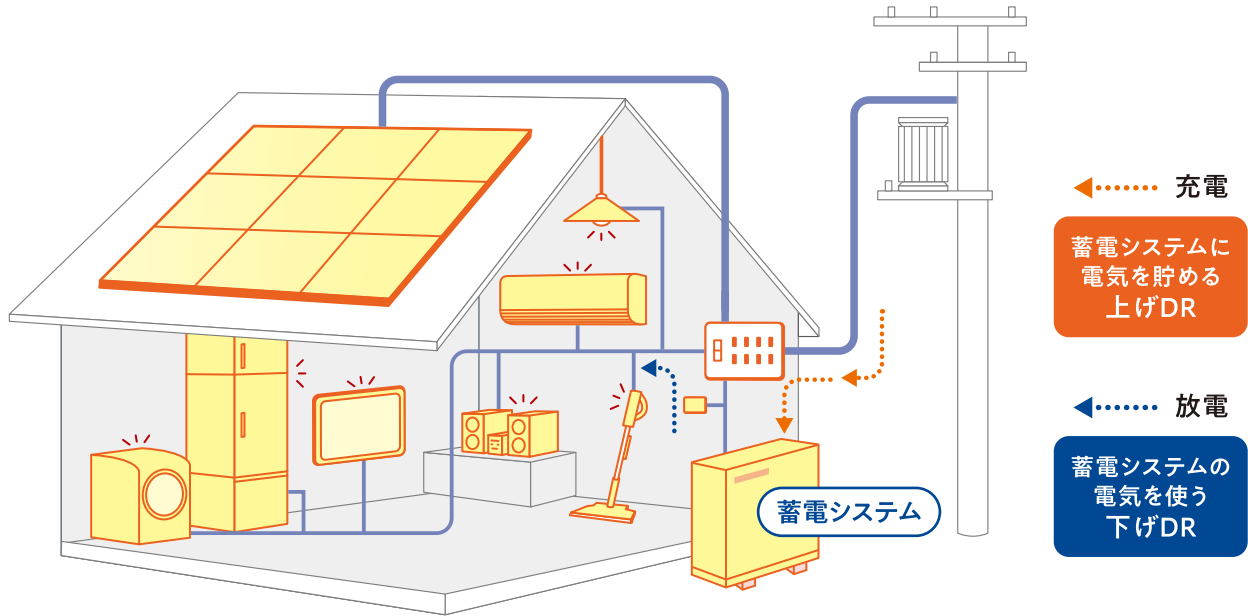
▶ 公募説明動画をホームページで公開しております。

公募説明動画 >>> <https://sii.or.jp/DRchikudenchi05r/session.html#A1>

? DRってなんですか?



ディマンドレスポンスの略称で、電力需給に合わせて電力消費を調整する手法です。
電力需要が少なく電気代が安い時間帯に蓄電池に充電し、
電力需要が多く電気代が高くなる時間帯に蓄電池に蓄えた電気を使用することが可能となり、
ご家庭の電気代の節約が期待できます。



※詳細なサービス内容は販売業者様を通じて蓄電池アグリゲーター／小売電気事業者にお問い合わせください。

Q 需給ひっ迫時のDR制御は電気が使えなくなるの?

A 電気が使えなくなるわけではありません。
需給ひっ迫時のDR制御は、蓄電システムに貯めてある電気をご家庭内で優先的に使用するモード等へ切り替えが行われたりするものが一般的です。

Q IoT機器 (HEMS) は必須なの?

A DR対応をするために必要不可欠である場合とそうではない場合がありますので、詳しくは、販売事業者または蓄電池アグリゲーターや小売電気事業者にお問い合わせください。なお、問い合わせの結果必須の場合においても、補助金の対象ではありません。

Q 他の補助金との併用は可能なの?

A 国庫を財源としている補助金との併用はできません。
ただし、財源が同じ国庫の場合でも補助対象設備が異なる場合や各地方公共団体の助成金等であれば併用は可能です。併用を希望される場合は、念のためそれぞれの担当窓口にもご確認ください。

Q 補助金はいくらもらえるの?

A HPに「補助金計算ツール」を掲載しておりますので、必要に応じてご利用ください。
(補助金の計算ツール)
https://sii.or.jp/DRchikudenchi05r/batterysystem_list.html
※計算ツールで算出される金額はあくまで参考の金額となります。

その他、よくあるご質問はSIIのHPで公開しているFAQ (<https://sii.or.jp/DRchikudenchi05r/>) をご確認ください。

問合せ先 一般社団法人 環境共創イニシアチブ DR蓄電池事業担当

ナビダイヤル TEL 0570-099-017 IP電話用番号 TEL 042-204-0218

Eメール dr_ess_info@sii.or.jp

※受付時間は10:00~12:00、13:00~17:00 (土日祝除く)
※通話料がかかりますのでご注意ください

詳細はホームページ・
公募要領をご覧ください。



<https://sii.or.jp/DRchikudenchi05r/>